

犬山市協働プラザの運営状況について

1. 経過

令和2年度の開設からコロナ禍での運営となりましたが、契約期間満了となる令和4年度は、少しずつ通常の活動の兆しが見え始め、利用者のニーズやこれまでの経験を踏まえ、各事業を実施しました。

また令和5年度からは、改めて仕様を見直し事業者選定プロポーザルを行い、いぬやま協働まちづくりコンソーシアム ジョインいぬやま 第Ⅱ期が受託・運営をしています。

2. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数合計(人)	444	468	435	452	411	376	422
稼働日数(日)	26	26	26	26	27	26	26
1日あたりの平均利用人数(人)	17.08	18.00	16.73	17.38	15.22	14.46	16.23
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	358	287	385	415	549	5,002	
	26	24	24	24	27	308	
	13.77	11.96	16.04	17.29	20.33	16.24	

3. 実施事業

(1) 受付管理業務

受付時間：月曜日～土曜日 9：00～17：00（受付：事業者職員2名体制）

仕事と活動を両立する利用者のニーズに対応するため、7月から1ヶ月に1回の夜間開放日を設けた。

※開館当初より、新型コロナウイルス感染症対策のため、利用者の記名や検温が必要なことから、受付時間外は交流スペース等の利用を不可としていたが、令和5年3月に感染対策が緩和されたことに伴い、市民交流センターの開館時間（8：30～21：00）の自由な利用が可能となった。

※令和5年度からは、毎週金曜日 19：00 まで夜間受付を実施。

(2) ホームページの運用管理及び情報発信業務

WEBサイトの構築・運営。わんまる一むNEWSの発行（春・夏・秋・冬号）。

(3) 地域資源バンクの運用業務

専用WEBサイトを運営し、収集した資源情報を掲載。

【R4 新規登録】人材情報 28 件、人材以外 39 件

【R4 マッチング案件】18 件

- (例) ・古民家空き家の活用 × 城下町の活動団体
- ・地域の企業 × プログラミング教室
- ・高校生ボランティア × 居場所づくり団体
- ・健康づくり団体 × ヨガ講師

(4) 相談・助言業務

【相談件数】 101 件

(例) 会員募集について、団体の立上げについて、地域との関わり方について 等

【ジムジム相談会】

団体やサークルの活動をしていくために必要となる、活動紹介、広報、イベント企画・運営、仲間集め、会員獲得、団体運営、年間計画、運営資金など、事務局が担う部分の相談・情報交換ができる少人数の相談会を毎月実施。

回	相談テーマ	参加人数
第1回	情報発信&共有ができる LINE の活用法	5 人
第2回	ビジュアルで届ける・つながるインスタグラムの活用法	4 人
第3回	市内でチラシを配布するには？	4 人
第4回	資金の種類って？(助成金、補助金、協賛金、寄附金など)	4 人
第5回	クラウドファンディングの仕組みを知ろう	4 人
第6回	次年度に向けた計画はいつ作る？	4 人
第7回	活動紹介のためのプレゼンテーション	4 人
第8回	報告書作りの準備をしよう	4 人

(5) フューチャーセッション@犬山の運營業務

過去のフューチャーセッション参加者による有志団体「いぬやま倶楽部」と協働し、異分野の人材が出会いと対話により、自ら行動に移していく場づくりを実施。令和4年度は各回会場を変えて開催することで、新たな出会いを創出した。

【開催実績】 参加者合計 122 名

- 第1回 6/5 (14名)、第2回 7/3 (21名) 会場：ハチカフェ犬山
- 第3回 9/17 (21名)、第4回 10/22 (16名) 会場：名古屋経済大学
- 第5回 11/18 (9名)、第6回 12/16 (8名) 会場：夢発心 (アウトドアフィールド)
- 最終回 1/28 (33名) 会場：協働プラザ 交流スペース

【フューチャーセッションをきっかけとした事業例】

- ・ありがとうプロジェクト
(「感謝してもらおうこと」のポイントと物を交換できるマルシェブースの出店)
- ・学生ボランティア向けのオンラインネットワーク「つむぐ」
(SNSを活用した学生や若者向けのボランティア情報の発信)
- ・ロスフラワーを使ったワークショップ
(廃棄される花を再利用したメッセージカード等を作成するワークショップの開催)

(6) 自主事業及び人材育成業務

- ・社会活動の立上げと持続可能な運営を学ぶ講座
 - ①スタートアップの組織づくり編
活動に対する基礎的な考え方や知識を学ぶ機会を設け、地域で持続的な活動を行う人材を育成する講座を全3回開催。(延べ参加者9名)
 - ②自立自走の組織づくり・ソーシャルビジネス編
ソーシャルビジネスの組織づくりに必要な人材とその役割について学ぶ講座を全3回開催。(延べ参加者24名)
- ・地域資源シェアエコサイト「いぬやまでばん」の運用及び実践講座の開催
インターネットを仲介して、市民自らが情報を収集し、既にあるものを活かし合い、提供・利用できるシェアリングエコノミーサービスのプラットフォームを導入し、地域活動を促進する。(講座参加者18名)
- ・いぬやま地域つながるフェス
市民活動や地域活動の取り組み、活動者がいることを市民や活動者同士が知ることができ、繋がりあえる機会を作ることを目的に、市内各地のイベントをSNSを通じて広報支援する。(参画団体23団体、協賛企業27社)
- ・犬山地域つながるシンポジウム&交流会
市内の活動者が既にある地域資源をどのように活用し、連携協働できるかを考え、活動に活かすことを目的に、第1部に基調講演、第2部にパネルディスカッション、第3部は参加者同士の交流会を実施した。(参加者40名)